

## 新たな地方公務員の海外派遣プログラムを始めます！ － 海外武者修行プログラム －

### ■ プログラムのポイント

- 地方公共団体が、自らの創意工夫に基づき、必要な人材育成を実現するために、新たなプログラムで支援
- 海外における諸活動を通じ、国際的な感覚と視野のある地方公務員を育成することが目的
- 研修・活動内容は、従来の画一的な受け身のものではなく、地方公共団体が自由に企画、決定
- 総務省が全体をとりまとめ、国内研修は全国市町村国際文化研修所（J I A M）が、海外での活動は(財)自治体国際化協会（C L A I R）がサポート
- プログラムへの参加は基本、語学の資格要件のみで、各地方公共団体が自由に派遣職員を決定

### ■ プログラム概要

地方公共団体が、各人の能力・ニーズなどに基づき、自らの創意工夫によって、職員の海外研修の具体的内容を企画・策定

【イメージ：実施期間は約4か月】

#### 1 事前研修（J I A Mでの教養研修、語学研修）



#### 2 海外派遣（C L A I Rのサポート受けながら海外研修）

i) ~VI) の内容を地方公共団体において自由に設定可能

- i) 自主テーマに基づく研究（遊学含む）
- ii) 大学院でのサマースクール受講（専門分野又は語学）
- iii) 関係機関／企業団体訪問・ネットワーキング
- iv) 海外自治体等での訪問研修等
- v) 国際交流・実務の実践



#### 3 事後研修（J I A Mでの成果評価・報告会）

### ■ 対象者（平成25年度は10名程度）

- ・ 地方公共団体の職員で地方公共団体が推薦する者
- ・ 英語能力が一定以上備わっている者（TOEFL iBT 60点程度 又は TOEIC 600点程度）

### ■ 対象国

アメリカ及び英国